

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援施設つくし園		
○保護者評価実施期間	R8年 1月 14日		～ R8年 2月 4日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	R8年 1月 14日		～ R8年 2月 4日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 3
○訪問先施設評価実施期間	R8年 1月 14日		～ R8年 2月 4日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月 4日		～ R8年 3月 4日

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	咀嚼嚥下について詳しいベテランの言語聴覚士が訪問している。 令和8年度はよりベテランの作業療法士にお願いできることになった。	子どもの必要性に応じてOT,STを入れているが、偏らないようにもしている。	訪問後の面談を希望されない家庭へも声かけをしていく。
2	専門職が、STとOT両方いるのでそれぞれの視点からアドバイスできる。	嚥下や咀嚼に課題がある子はSTが多くなるが、ST,OT両方の視点で見れるようバランス良く訪問を入れている。	家庭と施設両方から事前にそのときの課題を聞いてから訪問していく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ST,OTが非常勤のため、訪問回数が限られていて来てほしいときにすぐ行くことが出来ない。	ST,OTが非常勤のため。	保育士や児童発達支援管理責任者が様子を確認しておいて専門職の意見を求め、できるだけ早く専門職も入れるよう計画していく。